

伯友

No.86 2025

巻頭言



男子校 六甲学院

六甲伯友会副会長

46期 岡本 剣

阪神・淡路大震災から30年という節目に当たり、亡くなられた6,400余名の方々、また関係者の皆様に改めて深く哀悼の意を表します。

現在、副会長として事業委員会を担当しております、46期の岡本剣と申します。在校時代は、中学でサッカー部、高校で軟式庭球部に所属しておりました。特に目立つ存在ではありませんでしたが、卒業25年後の期が幹事となるOB総会懇親会で代表を務めさせて頂き、そのまま幹事をさせて頂きました。また、担当しております事業委員会の役割は、OB講演会・OB企業訪問などの学校サポートや、イエズス会姉妹校OB会との交流などとなり、多くのOBの方々のお力添えを頂いていることを、この場をお借りして御礼申し上げます。

六甲伯友会との関わりについてですが、私自身、在校時代に六甲への熱い思いがあった訳ではありませんでした。兄が自由な校風の関学に通っており、それに比べて、六甲は、中学生は丸坊主の時代で、校則も厳しく、関学に憧れていたこと

は否めません。そんな私ですが、自分の息子2人が母校六甲を卒業しました。なぜ、わざわざ六甲に。理由は、六甲時代の同級生や先輩・後輩との強い繋がりを、息子たちにも与えてあげたかったからです。振り返れば、たったの6年間ですが、多感な中学・高校時代に、共通の体験をすることは、非常に強い絆となり、卒業してから繋がりは、さらに強くなったと思っています。ご存知の方も多いと思いますが、各界でご活躍されているOBがいらっしゃいます。映画監督の黒沢清さん、ポリゴン・ピクチュアズの塩田周三さん、国土交通省の足立基成さん、クラウドワークスの吉田浩一郎さん、そして鬼籍に入られた五百旗頭真先生も含めまして、ここには書き切れないほどの方々がいらっしゃいます。

さて、男子校の数が減り続けていることをご存知でしょうか？この40年で4分の1に減少。2001年、国内に201校あった男子校は、現在、半分以上の100校を切っています。関西では、関学、洛南、高槻などが共学化し、男子校は希少性が高まって参りました。教育業界に身を置く私としては、少子化の中、生徒確保等のため、男子校・女子校の共学化の流れを認めないのですが、ここで男子校として生き残った暁には、改めて男子校の良さが見直されると思います。改めて、男子校の良さとは、(異性との接し方が分からないというデメリットがありますが)異性を気にすることなく、オタクな事でも好きな事に没頭し、仲間の絆を深めることが出来るという点かと思っています。立山キャンプも男子校ならではの取り組みです。そして、六甲の場合、校則も厳しく、後から振り返ると、理不尽な体験も共有出来ます。ちなみに、姉妹校の栄光学園や広島学院なども校風が良く似ており、OB同士が会うと、すぐに意気投合出来るようです。

最後に、ご覧になった方も多いと思いますが、今年の箱根駅伝において、79期秋吉拓真君(元陸上部、現在東京大学在学中)の復路8区の走りは、見事でした。六甲在校時代から強歩会で優勝していたそうですが、六甲生初の箱根駅伝出場だと思います。私は、年に1回程度、趣味でフルマラソンに出場しておりますが、彼の疾走の凄まじさには感動すると同時に、六甲卒として誇りに思いました。今後も、OBとして、新設される六甲未来つばさ募金も含めまして、現役六甲生や伯友会メンバーの交流のため、皆様のお力添えを頂きながら、尽力させて頂きたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

2025年度六甲伯友会総会招集告知

右の要領で2025年度六甲伯友会総会を開催いたします。総会では決算、予算案の承認など重要な案件が審議されます。

会員諸兄におかれましては是非とも総会に参加して六甲伯友会の運営に積極的に関わっていただければ幸いです。

六甲伯友会 会長 藤本久俊

開催日 2025年5月10日(土曜日)
開 会 午後3時(受付は午後2時半から)
場 所 ポートピアホテル
主な議題
・2024年度事業報告
・2024年度決算報告
・2025年度事業計画
・2025年度予算
・その他

委員会だより

■総務委員会

総務委員会は、幹事会・常任幹事会の運営、総会の開催などを担っております。

現在、委員は50・60期代を中心に5人います。幹事会・常任幹事会とも年4回程度開催しており、様々なOBの方とかわる機会があります。

手伝いたい！という方はぜひお声かけください。

■会員委員会

2024年の伯友会総会・懇親会は、ポートピアホテルにて、サルサダンスなど56期の皆さんの工夫をこらした企画で大いに盛り上がりました。7月には上智大学で関東支部、また11月には名古屋にて実に5年ぶりとなる中部支部の総会・懇親会も開催されようやくコロナの呪縛から解放された実感した1年でした。

また今年1月には昨年からはじめた、該当期の成人の日の集いへの支援を行いました。今年は80期が141名参加。若干ではありますが伯友会から補助いたしました。来年以降も補助を続けていく方針ですので81期以降の皆さんも成人の日の集まりを開催する際にはぜひ伯友会にお声かけください。

なお、今年は5年ぶりに会員名簿が発行されます。調査にご協力いただきありがとうございました。なお、会員名簿は前回と同様に希望者への有償での販売となります。

■情報管理委員会

伯友会名義のZoomアカウントを管理し、生徒研修所でのリモート会議の態勢を整えています。

伯友会の会議では引き続き対面とリモートのハイブリッド形式での会議を続けていきます。

同窓会などに活用していただくため、会員へのZoomアカウントの貸出を行っています。ご希望の方は伯友会事務局にお尋ねください。(TEL:078-861-6588 E-mail:office@hakuyu.jp)

🎵 音楽部の定期演奏会のご案内 🎵

六甲学院音楽部、第54回定期演奏会を開催する運びとなりました。

今年もポップスステージ、シンフォニックステージ、OB合同ステージの3部構成で、盛大に開催するべく準備を進めております。皆さま、万障お繰り合わせの上、是非とも足をお運びいただけますと幸甚に存じます。

日時：2025年3月31日(月)

17:30開場 18:00開演

場所：神戸市立東灘区文化センター(うはらホール)

入場料：500円(全席自由)

連絡先：s.nakamura@rokkogakuin.net

(音楽部顧問：中村駿介)

■事業委員会

•OB講演会について

2024年度はOB講演会を1回実施しました。12月6日(金)、36期森川雅浩さん(在米・ヴァージニア大学・医師)に来校いただき、現役生徒希望者にご講演いただきました。今回は森川さんの方から『何か後輩たちの役に立てれば』ということで学校にご連絡頂き、一時帰国のタイミングでご講演いただきましたが、『ご自身で直接見聞きしてこられたアフリカやアジアの厳しい現実の中で感じたことと考へたこと、世界の医療の実情など』を、スライドを交えながら熱心にお話しくださいました。

参加を希望した生徒たちには、とても刺激的で有意義な時間となりました。

•OB企業訪問実施

2024年8月、高1(84期)がOB企業訪問をさせていただきました。大阪(Panasonic・北浜法律事務所・関西電力)と神戸(川崎重工業・神戸地方裁判所)は予定通り実施できましたが、東京(国土交通省・東京大学・丸紅・dip)は台風10号の接近に伴い中止となりましたので、2025年3月での振替実施を計画中です。

本企画は、生徒の皆さんに非常に好評をいただいておりますので、2025年度以降も引き続き計画して参ります。

•IEZス会姉妹校交流について

2024年11月、東京(上智大学)にて第40回JJHAF会議が開催され、各校OB会の会長を中心に交流が行われました。

今後も姉妹校4校の交流を深めていきたいと考えております。

2025年度 伯友会総会・懇親会幹事期からの挨拶

2025年伯友会総会・懇親会は5月10日(土)にポートピアホテルにて開催いたします。

皆様それぞれが社会の中で異なる立場で活躍されていることと存じますが、六甲での6年間の生活がその基盤になっているものと思います。六甲での生活を共にした六甲の同期・先生方・先輩・後輩と再会することができるのが、この伯友会総会・懇親会です。卒後25年という節目にこの幹事という大役を我々57期生に与えて頂いたことに感謝申し上げます。

今回は皆様の最も思い入れの深い行事の一つの「体育祭」をテーマにしました。スペシャルゲストとして昨年の体育祭の取材を行われた読売テレビの“ギャル”ディレクターをお呼びしています。率直に感じた六甲像を語って頂きますが、皆様の頃の体育祭を追想し昔話に花を咲かせて頂きたいと思います。

伯友会総会の前に開催される平成塾においては、社会において大活躍をされている53期の荒木大輔氏と57期の谷村忠幸氏にそれぞれご講演を頂きます。このような豪華な組み合わせでのご講演は、今回の平成塾でしか聴講することができません。ぜひ総会・懇親会とあわせてお越しください。

久しぶりに青春時代を過ごした“六甲”を思い出しませんか？旧交を温めて頂くために57期精鋭が力を合わせて準備をしました。ご多忙とは存じますが、皆様お誘い合わせの上ぜひご参加ください。

幹事代表 57期 石原隆行

OB 職場訪問

□はじめに

2022年度から始まった六甲OB職場訪問は、3年目となりました。今年度もこれまでと同じく、東京・大阪・神戸を訪問先として選定し、各地でご活躍のOBの方々によるご案内の下、諸先輩方がその職業を選ぶにあたった経緯や仕事の魅力について、在校生たちに対してご紹介いただきました。これから2学期において控えている文系・理系選択、ひいては将来の職業選択への指針として、大いに子どもたちの心を揺さぶる貴重な経験をさせていただいたように思います。

今回でご多忙の折、後輩たちのために訪問を快く受け入れていただきましたOBのみなさまに感謝申し上げます。また、今年も学校とOBをつなぐ窓口として、伯友会事業委員会の岡本剣さま（46期）・青田雄弘さま（50期）には多大なお力添えを賜ることになりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

1. 神戸研修

日時：2024年8月1日（木）

訪問先：川崎重工株式会社 神戸本社（神戸市中央区）

神戸地方裁判所（神戸市中央区）

協力OB：青田雄弘さま（50期）、藤原唯人さま（50期）

引率教員：溝内千尋（理科）、森本亮介（社会科）

引率生徒：23名

概要

昨年度は5名の参加にとどまった神戸研修ですが、今年度はそれを大きく上回る23名が参加希望を申し出ました。8:30にJR神戸駅前に集合し、一同、最初の訪問先である川崎重工へと向かいました。



川崎重工での青田さま（50期）のご説明

川崎重工では、50期青田さまがわれわれをお出迎え下さいました。すでに会議室にはスタッフのみなさまが六甲生を出迎えるご準備をしてお下さっており、川崎重工の歩みや研究開発されているものについて、わかりやすくご紹介いただきました。その後、作業着への着替えを済まし、敷地内の工場見学へと向かいました。普段目にしない巨大な設備の数々に、驚いている生徒たちの表情が、印象的でした。

正午過ぎに工場を後にし、神戸地方裁判所に向かいました。神戸地裁横にある「兵庫県弁護士会館」にて、50期藤原さまと合流いたしました。藤原さまは最初に、ご自身の経歴をご紹介されたあと、弁護士のお仕事などをご説明下さりました。その後、藤原さまが事前にお手配をいただき、実際の刑事事件を傍聴する機会をいただきました。50分ほどに渡る傍聴でしたが、生徒たちはみな「自分事」として食い入るように裁判の展開を見守っておりました。ある生徒は、「実際の裁判を傍聴させていただき、また実際に弁護士として働いていらっしゃる藤原さんの貴重なお話も伺え、その実態の一部をきちんと自分の目で見て耳で聞いたことで、進路を考える上でとても参考になりました」と語っていましたが、今回の訪問で何かを学び取ってくれたように思います。



藤原さま（50期）による講話



Panasonicミュージアムで記念撮影（50期 宇田さま）

2. 大阪研修

日時：2024年8月5日（月）

訪問先：パナソニックホールディングス株式会社（大阪府門真市）

北浜法律事務所 大阪事務所（大阪市中央区北浜）

関西電力株式会社（大阪市北区中之島）

協力OB：宇田研一郎さま（50期）、覺道佳優さま（62期）、

久留島聡さま（51期）

引率教員：青木竜生（英語科）、森本亮介（社会科）

引率生徒：19名

概要

今年度の大阪訪問も昨年度と同じく、酷暑に見舞われました。大阪市内では最高気温35度以上を記録しており、真夏の猛暑日でした。そのような中、門真市から大阪市内まで、数多くの職場を見学させていただきました。

最初に訪問をしたパナソニックホールディングスでは、宇田さまのスライドによる事業紹介のあと、パナソニックミュージアム（松下幸之助歴史館）の見学などを行いました。宇田さまは生徒たちの質問を受ける前に、「こういった場で最初に手を挙げる人になって下さい」と、メッセージを投げかけておられました。



覺道さま（62期）による弁護士クイズ

続いて北浜の、北浜法律事務所へ場所を移しました。覺道さまはまだ生徒たちと年齢の近いこともあり、軽妙な語り口で生徒たちをぐいぐいと引き込み、自身が弁護士になるまでの軌跡をお話し下さいました。

とくに事前にご用意いただいていた「弁護士クイズ」には、生徒たちも真剣な眼差しで挑んでいたのが印象的でした。

北浜を後にし、次は中之島の関西電力に向かいました。入り口では久留島さまと高堂さま（73期）が生徒たちを出迎えて下さり、会議室へご案内いただきました。ガイダンスのあと、電気の安定供給を担う場である中央給電指令所の見学と、操作のシミュレーションをさせていただきました。またその後関西電力に勤める複数のOBが84期生のために時間を割いて下さり、グループトークをご計画下さいました。生徒たちの質問一つ一つに対し、丁寧に回答いただきました。生徒たちにとって、非常に貴重な経験をさせていただいた1日だったと思います。

（文責 六甲学院教諭 進路指導主任 森本亮介）

● 関東支部 ●

■実績

10/12(土) 上智近傍で開かれたWUJA (イエズス会学校卒業生世界連盟) の懇親会に五百旗頭支部長が出席。

- 各国のWUJA指導者と交流
- 英語でコミュニケーションできれば、信者であるかどうかは問わない開放的なネットワークだと認識
- イエズス会精神に基づく対話の知的・精神的意義や、ネットワークがキャリア形成に持つ意義が考えられる

10/26(土) 六甲学院の山岸先生・森嶋先生と六甲フェローシップの具体的なスケジュールを打ち合わせ

11/9(土) 翠友会(広島学院同窓会)総会兼60周年記念式典に参加
• 関東支部長西岡氏退任(福徳さんが就任)

11/13(水) 関東令和塾実施

- メインスピーカー塩田周三氏(44期)
- 非常に興味深いお話
- 六甲精神をきわめてユニークに言語化

11/19(火) 関東支部執行部新メンバー歓迎会を実施

12/10(火) 4校会検討会実施

■今後(2025.1.19時点)

2/20(木) 第3回 令和塾開催予定

3/1(土) 4校会イベント(サリ先生をお呼びして)を開催予定

7/12(土) 関東支部懇親会・令和塾開催予定

(文責 50期 川原弘行)

● 第16回中部支部会報告 ●



開催日: 2024年11月16日(土)

場 所: 中国料理王宮

参加者: <ご来賓> 高橋純雄校長

<出席者>

伯友会藤本久俊会長(33)、渡辺喜弘会員委員長(44)、
 関東支部山口明彦(33)、箕浦輝幸(19)、
 浦川龍男(21)、濱田誠剛(27)、中井隆弘(29)、
 小林義弘(30)、山森康雄(34)、大原弘隆(35)、
 熊谷正樹(35)、原口英二郎(36)、今村光一(45)、
 須藤保(45)、千代鶴洋平(66)

<中部支部事務局>

井上洋一支部長(33)、武藤淑郎(29)、南正治(35)、
 船越真琴(36)、阪田哲史(59) (敬称略)(期)

2024年11月16日(土)、第16回中部支部総会が、中国料理王宮に

て、コロナ感染症の影響もあり、5年振りに開催されました。

当日は、高橋純雄校長先生をご来賓に迎え、伯友会から藤本久俊会長と渡辺喜弘会員委員長、関東支部山口明彦さん、元副会長の濱田誠剛さん、そして、中部支部から45期須藤保さん、今村光一さん、66期千代鶴洋平さんの3名の方が初参加いただき、総勢21名の方にご参加いただきました。

総会では、支部長の33期井上洋一さんのご挨拶に始まり、高橋校長先生よりご挨拶いただいた後、最年長の19期箕浦輝幸さんに乾杯の音頭をお取りいただきました。また、恒例により、一人ずつ近況報告を行いました。特に、19期から66期までの幅広い層の方の様々な話が聞け、少人数ならではのアットホームな雰囲気を楽しめる一時を過ごすことができました。また、総会後は、カラオケボックスでの2次会に、9名の方が参加いただき、自慢の喉を披露しました。

中部地区は、会員数約200名と少ないですが、総会参加率は、支部の中で最も高いと言われております。

今後も新たな参加者を募って、伯友会中部支部の輪を一層広げていきたいと思っておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

(文責 35期 南正治)

● 伯友会ジュニア開催報告 ●

開催日: 2024年12月9日(月)

場 所: 三宮・友喜苑

参加者: 小林紀(49)、吉井(49)、東田(50)、中村崇(50)、
 山本浩(50)、青田(50)、阿南(50)、藤枝(50)、
 田崎(51)、前川(53)、金(59)

長らく伯友会ジュニア開催されていませんでしたが、約1年ぶりに行われました。遅れた方を含めて11名集まり、六甲色の濃い話をたくさん致しました。

約3年間伯友会ジュニアの幹事をして頂いた東田君から51期の田崎君へ幹事を引き継がれました。

今後はもう少し定期的に開催されると思います(笑)

伯友会ジュニアは六甲OB若手の集まりにもかかわらず若手の方々の参加が少ないので、今後はよりたくさんの若手の集まりになるよう期待したいと思います。

懇親会の幹事期が今年は57期であり、今後の懇親会を盛り上げる上でも、特に57期より若い世代が集まる場としてより発展していくことを期待します。

とても若い集まりとは言い難かったですが、期の違うOB同士が集まっても、濃い現役時代を経てきた共通の記憶がある者同士なのですぐに仲良くなれる気がします。

伯友会ジュニアもそうだし、懇親会や同窓会など様々な場でOB同士が集まる機会を今後も大切にしていきたいと思っております。

今後は是非伯友会ジュニアを盛り上げていきましょう!

(文責 50期 藤枝誠)



● 23期 喜寿の会報告 ●

開催日：2024年10月1日（火）

場 所：灘区法泉寺で物故者の法要の後、三宮「がんこ寿司」にて会食をしました。

参加者：東義博、天木豊、新居尊夫、池田佳隆、石田英明、今井健雄、今中満、大谷秀二、伊藤憲男、宇草圭司、菟原良治、神谷法寛、駒井弘和、木元裕俊、北野修三、木村勝彦、近藤純、佐伯邦治、田附慶朗、竹田英也、田中由夫、志垣一郎、白井康喜、杉本俊二、橋本昭正、福島正和、松口勝憲、前川弘幸、柳瀬武泰、山南貞夫、仁瓶真平、清水健雄、西林俊朗、南川和茂、藤澤信幸、安成哲三、谷津明、本條拓、溝口進、山中幹博、山内敏秀、和田康、湯川昌明

通知の方法は故喜多陽太郎が作成してくれた23期メーリングリスト（登録者：約90名）だけでしたが、参加者は半数の43名に達し今更ながらこのメーリングリストの威力を思い知りました。

当日は15時から灘区の寺で物故者30名の追善供養を行い故市野君の娘婿と孫が心のこもった法要を行ってくれました。そしてお寺のホールに移り2時間を掛けてそれぞれの送ってきた人生を語り合い17時より三宮の料亭で食事会を行い美味しいお酒をたらふく飲みました。

今回は、11年後の米寿（88歳）では余りにも長すぎますので3年後の傘寿（サンジュ・80歳）を目標に生き伸びようと全員が誓いました。

「輪廻には 二の足を踏む ムカデかな」 晶月

（文責 23期 湯川昌明）



原之村、屋田、藤本、前田（淳）、前田（英）、柁本、松井、松田、松永、三宅、宗近、村山、目代、本吉、森本、山本（隆）、山本（博） 以上、31期出席者70名

2015年9月の還暦同期会以降、今回久々に全国ベースで同期が集まりました。還暦同期会の際には関西のメンバーが非常に尽力されたので、今回の同期会の準備は関東のメンバーを中心に頑張ろうということで、約1年前から準備を開始。そうは言っても関西のメンバーにも色々協力を得る必要がありましたので、Zoom会議を活用しながら準備を進めました。

当日15時頃から早々と徐々に集まり始めた同期中にはお互いに50年振りというケースもあり、「お前誰や」「そう言えば面影があるなあ」という会話がそこ此処で聞こえました。

1次会は16時に開始。山下先生からは認知症に関するしみじみとしたお話、栗田先生からはご自分が作成された文集を必ず読んで感想文を送るよにとの宿題（出席者の皆さん、忘れないように！）をいただきました。その後これまでに帰天した同期14名（藍原、栗根、一色、枝、岡田（勇）、小瀬、榊、佐藤（晃）、清水、須藤、橋本（和）、畑岡、松本、山本（博嗣））の在校時の姿を映し、追悼。歓談の後は各自の1分間スピーチ。まだ現役でバリバリ働いている方、リタイア後の暮らしをエンジョイされている方、それぞれ卒業後50年の歴史のつまった人生を簡潔に語っていただきました（語り尽くせないね）。その後、皆で肩を組んで輪になり、六甲讃歌と校歌を斉唱、一体感がさらに盛り上がりました。一体感が高まったところで、ホテル会場責任者の「はい、チーズ」の掛け声のもと記念撮影。「チーズ」と声を合わせて答える皆の若々しい声。まだまだ若い。19時で一次会は解散。

2次会は同じ会場で、当日参加できなかったメンバーのコメントや、修学旅行・体育祭の動画を見ながら、更に旧交を温め、21時に散会。

次回みんなで会うのは80歳の時でしょうか。それまで皆さん元気で。

※ご出席の皆さんの同意のもと、会費残額は六甲未末つばさ募金に寄付いたしました。（文責 31期 倉光泰隆）

● 31期 卒業50周年同期会報告 ●

開催日：2024年9月14日（土）

場 所：ザ・マーカスクエア神戸

主な内容：帰天者追悼、爆笑1分間スピーチ、昭和47年修学旅行&昭和48年体育祭8mm動画

参加者：【恩師】山下健司先生、栗田陽二郎先生

【31期】足立、飯田、池ノ上、石橋、板倉、上田、上松（正）、上松（幹）、浦上、江見、種田、大竹、大歳、岡崎、奥西、小野田、梯、片桐、金川、金光、苅田、北野、倉光、古志、小見山、小守、小山、阪本、酒見、澤田、塩谷、白井、高木、多田、立石、津下、筒井、寺井、豊田、中井、長井、長尾、中村（英）、中村（隆）、西川（徹）、西谷、信川、長谷川、畑辺、花房、濱田、林、早瀬、

● 山岳部OB会 ●

開催日：2024年10月26日～27日

場 所：高御座山（高砂市）、長峰墓地、愛蓮

参加者：田中（23）、石原（24）、佐伯（24）、小根田（26）、山田（26）、中家（28）、矢野（29）、塩村（30）、竹田（33）、佐藤（34）、藤原（34）

六甲学院山岳会（山岳部OB会）の2024年度総会・懇親会を10月26～27日に開催しました。参加者は23期から34期までの11名。

プレイベントとして、有志5名（23期田中、26期小根田、30期塩村、33期竹田、34期佐藤）によるハイキング・キャンプを高砂市の高御座山（標高307m）で実施。播磨アルプスと言われるだけあって、岩が露出した急傾斜の尾根を登り、遮るものがない素晴らしい眺望を満喫しました。

下山後、山麓の市の池キャンプ場でバーベキューと焚火を堪能。豚・鳥・牛・ラム肉各種と焼きそば、トウモロコシを年相応に上品に、年不相応の健啖ぶりでペロリと平らげました。良くも悪くも、往年のような肉の争奪戦は卒業しました。

27日は長峰墓地に集合し、2002年12月3日に帰天された故阪上秀太郎先生（1期、オッサン）を追悼。2024年3月に帰天された19期五百旗頭真さんの追悼特集が組まれた「伯友」85号を墓前に供し、焼香・黙祷を捧げました。武宮、武庫、クノール、ラハイ、ヒルケル、メルシュなどの先生方が眠るイエズス会墓地にもお参りしました。

次いで、席を阪急六甲駅近くの「愛蓮」に移し、総会・懇親会を実施。30期塩村会長が「来年はオッサンの生誕100年に当たる。ぜひ、多数の会員が集まる企画を実現したい」と力強く抱負を語りました。

28期中家氏は会計報告で、主な支出として五百旗頭さんを偲ぶ会へ協賛を行ったことを報告。総会や懇親会の折にご寄付いただく皆様のご協力で、会が滞りなく運営できていることに感謝しました。

時を忘れての楽しい会食後、阪急六甲駅では、六甲生があしなが育英会の募金活動していました。50歳以上年が離れた後輩たちですが、何かつながる温かいものを感じ、応援したくなる気持ちになりました。

最後に、毎年ご協力を賜っている伯友会事務局、六甲教会の皆様にご挨拶を申し上げます。（文責 34期 佐藤俊介）



長峰墓地、故阪上先生墓前にて

● ロサンゼルス伯友会懇親会 ●

開催日：2024年9月21日

場所：Sea Empress Seafood Restaurant
（ロサンゼルス郊外ガーデナ市）

参加者：左上段から

60期 高端恭輔・洋恵夫妻、72期 中内怜、76期 安田航一郎
左下段から35期 陳敏生、42期 森下秀明（敬称略）



今回日本に帰国される、高端さんの送別会、日本から来られた中内さんの歓迎会を行いました。カリフォルニアにはアメリカ生活が長い、経験豊かな卒業生がたくさんいます。

留学、駐在、旅行等でアメリカに来られる際は、是非お知らせください。歓迎会をさせていただきます。

連絡先：morishita@mmsystems.com 森下

よろしくお願いたします。（文責 42期 森下秀明）

● フリン先生を偲ぶ会 ●

六甲学院17期、23期、29期、35期、41期と泰星学園41期の卒業生で、毎年フリン先生を偲ぶ会を開いております。

今年は2月8日に四ツ谷のイグナチオ教会地下墓地で、28期 瀬本神父様の司式で30名の参加者にて追悼ミサをあげさせていただきました。

翌2月9日には、神戸長峰墓地内のイエズス会共同墓地にイグナチオ教会から分骨したフリン先生の遺骨を35期 英神父様の司式で納骨させて頂きました。

（文責 29期 藤井則雄）



フリン先生を偲ぶ会公式ホームページ

<http://flynn1741.jp/>



このホームページでは、恩師ロバート・フリン先生を偲ぶ会の情報や活動内容、懐かしい写真を提供していきます。

伯友会のホームページからもリンクしています。

（管理者 29期 松本宏）

箱根駅伝六甲OB出場



79期 秋吉拓真君、箱根駅伝復路 8 区快走！



79期秋吉拓真君（東京大学工学部3回生）が箱根駅伝復路8区で関東学生連合選手として快走しました。たくさんの六甲OBの方々が秋吉君を応援されていたようです。秋吉君、あの箱根駅伝に出場し活躍されたことを六甲OBとして誇りに思いますし勇気をもらえました。大変お疲れ様でした。六甲OBの箱根駅伝出場はおそらく初の快挙ではないかと思います。

秋吉君、あの箱根駅伝に出場し活躍されたことを六甲OBとして誇りに思いますし勇気をもらえました。大変お疲れ様でした。六甲OBの箱根駅伝出場はおそらく初の快挙ではないかと思います。

秋吉君のSNSで六甲の強歩会が原点だというコメントがありました。

故武宮校長が目指された六甲教育の一つである強歩会が約80年の時を経て箱根駅伝に出場する選手を生み出すに至ったということは偶然では無いと感じます。六甲山の中腹に位置し、6年間あの急な坂を登り降りしたこと、強歩会、体育祭、便番、中間体操などなど、肉体的にだけでなく精神的に強靱な人間を生み出す六甲教育の賜だと感じます。

下記様々なSNSで発信・掲載されていますので是非ご覧下さい。今後も秋吉拓真君を応援したいと思います。

●秋吉拓真君 Xページ

https://x.com/akiyoshitakuma/status/1875158946509664766?s=51&t=Qaj_hLFdY9_FG0qa8VRNUg



●六甲学院公式「くま先輩の日誌」Xページ

https://x.com/rokko_info/status/1875377693774188653?s=46&t=Qaj_hLFdY9_FG0qa8VRNUg



●六甲伯友会 Facebook

<https://www.facebook.com/share/p/1BWzBYArMQ/?mibextid=wwXlfr>



●六甲伯友会 Xページ

https://x.com/rokko_hakuyu/status/187402125554400545?s=46&t=Qaj_hLFdY9_FG0qa8VRNUg



(文責 50期 藤枝誠)



明るい未来を

六甲伯友会会長

31期 藤本久俊

伯友会の皆さん、元気でお過ごしですか。

今年は、箱根駅伝で、79期の秋吉君（東京大学3年生）が学連選抜のメンバーに選ばれ、8区を快走するといううれしいニュースで幕を開けました。

1月16日には、イスラエルとハマスが6週間の期間限定付きとはいえ、停戦に合意し、ようやくガザの惨状に終止符が打たれる目安がつかしました。

春には、82期の諸君約180名が卒業し、伯友会の仲間に加わってくれます。

何より、今年は、1期の先輩（今も複数名の方がお元気です）が100歳をお迎えになります。画面を通してではありませんが、5月の総会・懇親会に元気なお姿を見せて下さる予定です。

伯友会の目的は、会員相互の友誼を図り、懇親を深めることです。80年を超える年の差の皆さんが交流し、互いのよい所を学びあっていけることは、まことに喜ばしいことです。

しかし、ウクライナではまだ戦闘が続いています。ガザで失われた命は帰って来ません。能登の皆さんはようやく復興の道についたばかりです。

六甲は、自分の幸せのみに汲々とする学校ではありません。FOR OTHERS WITH OTHERSの理念の下、広い視野で他の方々の幸せを考え、そのために尽くす人間が育つ場です。

私は、法曹として40数年を過ごしてきましたが、この間、とことん主張し、要求する個人や団体が増えたという印象を否めません。それは、経済状況を含め、自身を取り巻く環境の厳しさがなせることかもしれません。

でも、少し余裕をもって、周りのことも考えましょう。卒業生の皆さんが母校教育の精神を体し、それぞれの持ち場で力を発揮していただければ、戦争のない、まじめに働く人がきちんと報われる、より良い社会は必ず実現できると思います。

学校を援助すべく、六甲未来つばさ募金も始まりました。明るい未来を目指して頑張ってください。

… 会員の皆様へ …

■伯友秋号送付希望者募集

六甲伯友会の会誌「伯友」の春号は会員全員に、秋号は会費納入者で秋号の送付を希望される方と、六甲学院を卒業後4年間に該当する方全員に送付いたします。会費納入者で秋号の送付希望をされていない方で送付を希望される方は伯友会事務局までお申し出ください。

また広報委員会では、情報提供をホームページ等を通じて会員サービスの向上を図っております。ご意見・ご質問・ご要望等ございましたら、伯友会事務局までご連絡下さい。

WEB www.hakuyu.jp
 X @rokko_hakuyu
 TEL 078-861-6588
 E-mail office@hakuyu.jp

■会費について

会員には会費の納入義務があります。会費は伯友会にとって重要な収入であり、伯友会運営にとって貴重な財源です。未納の方は是非とも納入してください。

657-0068

兵庫県神戸市灘区篠原北町1-8-25



あなたの会費が何年度分まで納められているかは宛名の右下に記載されています。もしあなたが終身会員であれば、会費納入状況は『終身』となっています。2025年度分まで納入済みの方は『2025』となっています。また、会費納入実績がない場合は記載がありません。

年会費：年会費は3,000円です。会費未納期間が3年以上ある場合は、2年前に遡り本年度分を含めて3年分納入いただきます。

終身会費：終身会費は45,000円です。既に半数以上の会員が終身会員になっています。終身会員になると年会費の納入の必要がなく、毎年会費を納入する煩わしさもなくなります。また、過去の未払いの年会費を遡って徴収することはありませんので、終身会員になられることをお勧めしています。なお、今年度以降の会費を納入済みの方にはその分を45,000円から差し引かせていただきます。

■伯友基金について

伯友基金は六甲学院の教育活動と社会奉仕活動のために使用する目的で1993年に設立された基金です。第3運動場のナイター照明や高校教室のプロジェクター設備なども、この基金を活用して設けられました。また、基金の一部から、東ティモール聖イグナチオ学院奨学金プログラムへの協力も行っております。

本年は5件、178,392円のご寄付をいただきました。御礼申し上げます。

■寄付者（敬称略・匿名希望を除く）

45期有志、50期 白井耕二郎、52期 嘉悦泰博

■伯友奨学基金にご協力を

六甲学院からの要請を受け、「伯友奨学基金」を設立しました。昨今、学費に困窮する学生が増え、大学生の二人に一人が約300万円の負債を負って社会に出るのが日本の現状となっています。六甲学院も決して例外ではなく、奨学金を必要とする学生が年々増加しております。“家庭の経済的理由で六甲学院を去らねばならない後輩をひとりも出したくない”という思いで設立された奨学基金です。

伯友会からの奨学金として、年間約50万円の授業料相当分を一人もしくは二人に給付していくことを目標としており、これからも継続的な積み立てが必要です。引き続き基金へのご協力をよろしくお願いいたします。

本年は8件、228,000円のご寄付をいただきました。御礼申し上げます。

■寄付者（敬称略、匿名希望を除く）

5期 米谷弘、15期 北村恒紀、38期 田淵信也、40期 伊藤英樹、50期 白井耕二郎

*ご入金の際には必ず期・氏名をメール又はFAXで事務局までお知らせください。

*寄付者のお名前は会誌の春号に掲載されます。匿名希望の方は併せてお知らせください。

*ご寄付いただいた額の領収書を発行することは可能ですが、六甲伯友会は学校法人ではないため寄付金控除の対象になっておりません。ご了承ください。領収書が必要な場合は事務局までご連絡ください。

六甲学院により『六甲未来つばさ募金』が創設されます。詳しくはこの伯友春号に同封されている資料をご確認下さい。昨年度の伯友秋号の資料では『六甲学院未来募金』でしたが改称されておりますのでご注意ください。

■伯友会事務局からのお知らせ

伯友会事務局執務時間は年末年始とお盆の頃を除いて原則的に月・水・金曜日のP.M. 1:00~P.M. 5:00迄です。ご用件の内容によっては、即答出来ない場合もありますが、必ず調べた上お答えいたしますので、ご遠慮なくご連絡下さい。

伯友会会費の納入は

- 三井住友銀行六甲支店 (421)
□座番号 (普通) 1103520 □座名 六甲伯友会
- 郵便振替
□座番号 01110-8-73016 □座名 六甲伯友会

伯友基金への振込は

- 三井住友銀行六甲支店 (421)
□座番号 (普通) 3692900 □座名 伯友基金

伯友奨学基金への振込は

- 三井住友銀行六甲支店 (421)
□座番号 (普通) 4513835 □座名 六甲伯友会奨学金

| | |
|--------------|--|
| 伯友86号 | 発行日 2025年3月10日 発行人 藤本久俊 編集・構成 広報委員会 印刷 福田印刷工業株式会社 |
|--------------|--|

| | |
|---------------|--|
| 伯友会事務局 | 〒657-0068 神戸市灘区篠原北町1丁目8番25号 六甲学院生徒研修所内 TEL. 078-861-6588 FAX. 078-861-6573 E-mail : office@hakuyu.jp ホームページ : www.hakuyu.jp |
|---------------|--|